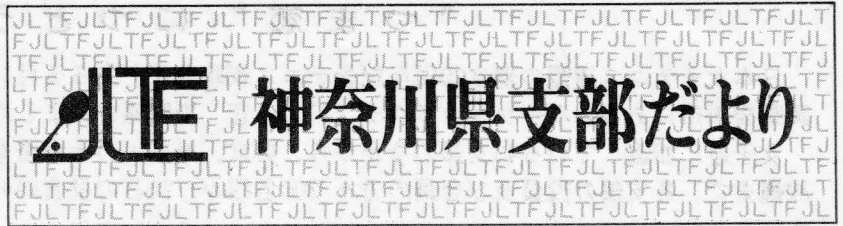


第20号



事務局

佐藤景子

日本女子テニス連盟も20周年を迎え、全国各支部からたくさんの会員が集い、祝賀式典、親睦テニス大会が開催されました。神奈川県支部からも多数出席しましたが、楽しかった思い出の数々を大先輩のお二人にレポートして頂きました。

日本女子テニス連盟20周年記念式典に出席して

3月20日、赤坂フォーラムに於いて、来賓・会員約 200名の参加を得て祝賀式が行われました。20周年は、次の30年、40年への出発点という考え方で、地味に、そして些やかにと、記念行事委員会が計画したわけですが、担当役員の情熱というのでしょうか、思いがけない程立派な式典でございました。年誌も当初は20年目のけじめとしてメモ、程度の構想でしたが、編集委員の努力で、期待以上(失礼)の立派な年誌ができました。ご覧になりましたか?是非お読み下さい。祝賀式は、井上副会長の開会の言葉に始まり、桑名会長のお元気なお挨拶、昨年6ヶ月もの間入院していたとは思えない程、張りのある若々しいお声でした。続いて、小坂日本テニス協会会長のご祝辞、売り上げ税等政治局面の忙しい最中に駆けつけて下さいました。(女子連に最も理解を持って下さる方と、伺っております。) その他、テニス協会関係者のご祝辞を沢山頂きました。又、飯田副理事長の司会により、地方協会、支部役員、御欠席の関係者からの祝電、朝日新聞社、三菱自動車工業、博報堂、東急エージェンシー等からの美しい祝賀花籠が届いているとの披露。関東協会永草理事長の乾杯の音頭で、ティーパーティーに入り、女子連マーク入りの特大ケーキに、宮城理事長と藤倉事務局長がナイフを入れ会場内は最高に盛り上がりました。お客様の中には、吉田夫人(沢松和子さん)、佐藤直子選手等、元選手、元役員諸先輩と多士歳々の賑でございました。歓談も予定の時間をオーバーする盛況で終了いたしました。

「昭和43年1月17日、誠に威勢よく且つ情熱的に発足した日本女子テニス連盟」と井上副会長がJTAニュースに寄稿されております。更にこれからも、初心の情熱をもってテニス界、特に女子テニスの発展の為に、これ迄の経験を生かしつつ、一段と充実前進して行きます事を願っております。

(夢見ヶ崎ローン 草生 さえ子)



“つま恋”につどう

日本女子テニス連盟の創立20周年記念テニス親睦会が、去る5月19日から21日までの3日間、静岡県掛川市にあるスポーツマンズクラブ“つま恋”で開催されました。

女子連に加盟している40支部のなかから、東京、神奈川の大世帯をはじめ、北は北海道から南は沖縄まで、各支部の役員及び会員の方々 300名程が、20日の昼食時の祝賀パーティーにつま恋に集まりました。

昨年6ヶ月に及ぶ病院生活を克服して、お元気になられた桑名会長の潑らつとしたお声のご挨拶に始まり、地元来賓の方々のお祝辞を頂き、武石副会長の乾杯の音頭で会が始まりました。ビンゴゲームでパーティーが盛り上がった後、閉会の辞にかえて村上東京支部長の音頭で、手話の振付けをしながら“世界は二人の為に”を合唱し、指一本の手拍子から、二本、三本、四本、五本と大きな拍手を全員が力づよく合せ、テニス愛好者の最初のひとしずくの輪が今日の女子連の全国組織の大きな輪に広がっていった喜びを全員が感じることができ、感激いたしました。

午後、私共B班は豊かな緑に包まれた23面のコートに分かれ他支部の方々お一人ずつをまじえてテニスをしました。全員初対面にも拘らず和やかなゲームを楽しむことが出来ました。

翌朝食堂に参りましたら、広い大食堂に溢れる程の朝食のバイキング、太るのも忘れてゆったりした気分です十分な食事をし、午前中はテニスコートで汗を流しました。若葉のみずみずしさがひときわ美しく、樹木の緑に囲まれ森林浴に酔いながらテニスをする事ができ、自然の恵みと安らぎを感じました。帰路東名を降りる時の夕日が、2日間の素晴らしい晴天を物語っているようにまぶしい程に輝いているのを見て、同行の三人心から感謝の言葉になりました。楽しく豊かな2日間でした。

末筆ながらこの大会を支えて下さった役員の方々に厚くお礼を申し上げます。

(鎌倉ローン 溝口美知子)

県支部ブロック別ダブルストーナメント

ブロック	とき	と ころ	参加数	結 果
A	4/14 ~16	霧ヶ丘テニスクラブ	1 2 6	優 勝 刈屋・早坂 準優勝 武部・国保 第3位 氏原・只隈、須藤・鈴木
B	4/13 ~15	鎌倉シーサイドテニスクラブ 鎌倉ローンテニスクラブ	1 2 6	優 勝 石田・楠原 準優勝 湯浅・大窪 第3位 深井・松岡、毎田・茂原
C	4/13 ~15	平塚市営桃浜コート 湘南ローンテニスクラブ 高麗山テニスクラブ	1 4 7	優 勝 近藤・古川 準優勝 松原・神長、 第3位 宮部・広瀬、山口・日野

第7回テニス講習会

恒例のテニス講習会は5月14日15日、湘南スポーツセンターで154名参加して行われました。今回始めて参加した相模原グリーンの小松令子さんは次の様な感想を寄せて下さいました。

「今回講習会に初めて参加して本当によかったと思っています。講習会では、ストロークの場合は動きながらクロス・ストレート・クロス等に打ち合わせる練習を、ボレーも、アプローチショットからローボレー、ハイボレーと動きながら、スマッシュも横や後にさがりながら打つ練習をしました。私の今迄の練習は動きながらよりその場での練習が多かったと思います。これからは、クラブでの練習に講習会の経験をいかして、動きのある練習に励み、技術の向上を目指したいと思います。御指導ありがとうございました。」



第11回リビング・レディース コカ・コーラ杯テニストーナメント

たくさんの方々が楽しみにしている恒例のコカ・コーラ杯が5月18日～28日迄行われました。今年は例年よりやや少なく392組の方々がその技を競い、見事優勝カップ、赤い自転車その他たくさんの方々の賞品を掌中にしたのは河田・神野組でした。

表彰式後の抽選会にはたくさんの方が用意され、応援、観戦に来た人達も、素晴らしい試合を見た上におみやげもあつたりで楽しい一日だった事でしょう。

第11回 リビング・レディース コカ・コーラ杯

優勝	河田・神野	(寒川ローン・湘南グリーン)
準優勝	宮本・関川	(柿ノ木台グリーン)
第三位	滝本・関場	(相模原グリーン・上郷グリーン)
第三位	若島・松岡	(読売フタバ・サントリー)

MMC桑名杯 フレッシュ レディーステニス'87

トーナメントの名前の通り、フレッシュな選手達が溙らつとしたプレーを見せてくれる桑名杯。各ブロックでの予選を勝ち抜いた64組で6月22日23日の2日間、湘南スポーツセンターに於いて神奈川県支部大会が行われました。新人戦とはいえ、その試合ぶりは、サービスダッシュあり、4人でのボレーボレーありと、とても見ごたえのある素晴らしい熱戦でした。'87フレッシュレディース No.1になった永山さん、渡部さんに喜びの言葉を寄せて頂きました。

桑名杯に優勝して

永山郁子・渡部房枝



私達が一緒にテニスをするようになったのはスクールで知り合ってからです。昨年の3月にテニスクラブに入り色々な人達に相手をして頂く様になりました。トーナメントに出る様になると、毎回新しい発見と反省とテニスの難しさに驚くばかりでした。そして今回の桑名杯でも多くの経験をしました。Aブロックの決勝戦では、マッチポイントを取られていたのを逆転して優勝する事が出来ました。前半は何をしても上手いかずに集中出来ませんでした。後半は勝つ事を意識せず夢中でプレーする事が出来ました。最後のポイントが決った時のお互いの笑顔と感激は忘れられません。

予選・本選と勝ち抜き、そして優勝など初めての事です。この経験をいかしてこれからも頑張りたいと思います。終りに未熟な私達にこの様な機会を与えて下さった大会運営の皆様と応援して下さいました方々に心よりお礼申し上げます。

MMC桑名杯フレッシュレディーステニス'87

優勝	永山・渡部	(横浜ガーデン)
準優勝	形田・村松	(瀬谷グリーン)
第三位	岡島・伊沢	(横浜南ローン)
第三位	大野・金子	(茅ヶ崎シーサイド、寒川ローン)

五都県対抗戦に参加して

古川美智子(湘南ローン)

今春、Cブロックのダブルストーナメントで幸運にも優勝でき、パートナーの近藤さんと夢のようだと喜び合いました。6月30日、千葉県柏の「オークス柏」で行われた関東地区五都県対抗の親睦試合に我々ペアも神奈川代表で出場し、団体戦の楽しさを大いに満喫してまいりました。各県から5ペア、10人が熱戦し、それぞれNo.1はNo.1同士、No.2はNo.2同士、総当りの1セットマッチで、総合の結果、千葉優勝、神奈川準優勝、以下埼玉、東京、茨城の順でした。サービスダッシュ、リターンダッシュと攻撃的な力強いテニスに、常にクレールで練習している我々は勝手が違い、圧倒されました。けれどもこの大変貴重な経験を今後の課題にいかしていきたいと感じました。監督としてお世話して下さいました天野さん、有吉さんをはじめ選手の皆さん(近藤さん、国保さん、武部さん、松原さん、阿部さん、刈屋さん、斉藤さん、大窪さん、湯浅さん)本当にありがとうございました。

神奈川県予選大会注意事項

- ① 出場者は指定時刻15分前に、二人揃って試合の出来る服装で本部に届けること。(定刻の呼び出しに応じられないペアは棄権とみなします)
- ② 天候その他により、試合の有無がはっきりしない時は、定刻までにコートに参集して下さい。試合日時の変更は、大会会場に於て発表いたします。(天候その他の理由により、日程及び会場も変更することがあります。)
- ③ 試合方法は、3セットマッチノーアドバーテージ6オール、12Pタイブレイク(デュースになった時、次のポイントがそのゲームを決定する。その場合レシーバーに左右のコートの選択権がある)
- ④ 審判は敗者審判とし、方法はソロ・チェア・アンパイヤーで行います。(但し、各コート第一試合のみセルフ・ジャッジ)
(注) ソロ・チェア・アンパイヤーのやり方
ア、原則として、ボールのアウト及びセーフの判定は、セルフジャッジとする。
イ、アンパイヤーはスコアをコールしカードに記録する。
- ⑤ ウォーミングアップは当日、初回戦のみ、3分以内とし、次回選からサービスのみとします。
- ⑥ テニスウェアは、白を基調としたものを着用して下さい。(守れない場合は、出場停止の場合もあります。)
- ⑦ ケイレン、その他不祥事が起きた場合の休憩は、一切認めません。
- ⑧ 次回試合の予定は、必ずレフェリーにお確かめ下さい。
- ⑨ 使用球は、ダンロップフォート(イエロー)です。
- ⑩ 組合せ発表は、8月20日(木)以降、次の場所に仮ドロー表を掲示いたします。
ウインザーラケットショップ 横浜店 横須賀テニスクラブ 横浜スポーツマンテニスクラブ
相模原グリーンテニスクラブ 上郷グリーンヒルテニスクラブ 柿ノ木台グリーンテニスクラブ
夢見ヶ崎ローンテニスクラブ 高麗山テニスクラブ 湘南スポーツセンター
鎌倉宮カントリーテニスクラブ 湘南ローンテニスクラブ
- ⑪ 参加料は、1組3,000円です。
- ⑫ 自動車使用の選手は、各コート共駐車場は有りません。有料駐車場を利用のこと。
(車の事故、混雑による遅刻、その他の理由による本部への問合せは一切関知いたしません。)
- ⑬ 本大会は日本テニス協会の規定によるダブルエントリーの項目を適用する大会となりますので、日程にご注意下さい。
(トーナメント諸規則 15 プレーヤー(d) 参照)
- ⑭ 申込み場所 (長浜) 鈴木 澄子
(本牧) 鈴木 聿美
(平塚) 有吉 春子
(相模原) 横井 正子

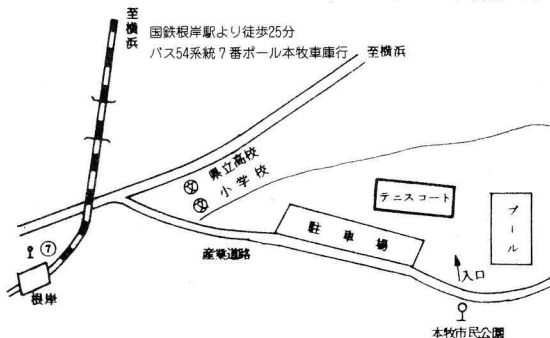


各コート略図

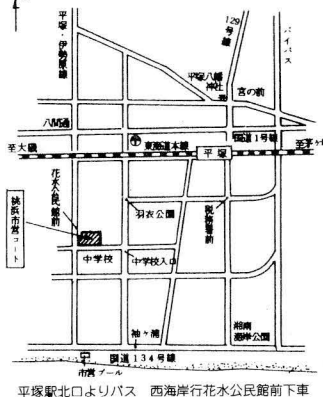
横浜市長浜テニスコート
(オールウェザーコート)



横浜市本牧テニスコート
(オールウェザーコート)



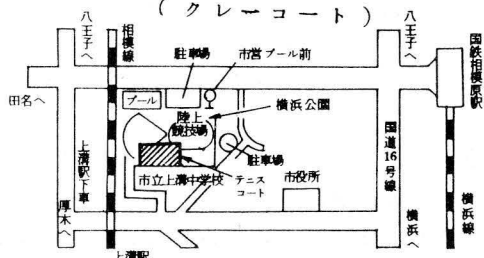
平塚市宮桃浜コート
(クレーコート)



川崎等々力テニスコート
(クレーコート)



横山公園テニスコート
(クレーコート)



- ①横濱線「相模原」駅バス乗換「市営プール前」下車1分
②横濱線「淵野辺」駅バス乗換「上溝」下車5分
③相模線「上溝」駅徒歩5分

ふ れ あ い

カリフォルニアの太陽の下で

寒川ローンTC 中野信子

ロスアンジェルス空港に降り立った時は、まばゆい太陽がさんさんと輝き、目を開けていられない程であった。この強烈な太陽の下でテニスなど出来ない瞬間思ったものでした。が3年3ヵ月テニスを楽しみ、テニスが出来たからこそ、たくさんのアメリカ人のテニス仲間、日本人の仲間が出来、そして“住めば都” “世間は狭い”(It's a small world!) を実感したものです。

ロスへ出発間近にウッディTCの日野さんから、ロスへ行く人がいるからロスと一緒にテニスをしたらと紹介されたのが希望が丘TCの栗岡さんでした。ロスに着いて2ヶ月半後、彼女もロスに着いて、初めて逢って、テニスを楽しみはじめました。ある時、隣のコートでシングルスをしていたのがミシェル達との出逢いでした。早速ダブルスを申し込んで、そのゲームは私達の初勝利でした。それからミシェルはいろいろの人達の電話番号やテニスチャレンジチームへのチャレンジの仕方など教えてくれ、ミシェルとは、テニスを一番多くして、勝ったり負けたりして楽しんだものでした。又彼女の紹介で、ポイント制のチームテニストーナメントの仲間に入り、わがチーム(ダブルス3チーム、シングルス2チームで、リーダーはシルビア)は、地区優勝をして、UCLA(ロスオリンピックのテニス会場)まで行ってブロック大会に出場。ブロック優勝すれば、全国大会はフロリダのクレーコートでテニスが出来るといので、皆張り切ったものの、夢は破れてしまいました。ロスはハードコートばかりで、クレーコートでプレーをしたことがない彼女達とフロリダに行く事は出来なかったけれど、日本はクレーコートが沢山あるから、今度は日本でテニスをしましょうと別れをおしんできました。栗岡さんより10ヶ月余り早く昨夏帰国しました。良きテニスのパートナーにめぐり逢えて、私のロスでの生活は楽しいものでした。いつかひょっこりミシェル達がラケットを片手に“ハイ、ノブーコ!” といって現れるのではと期待している此頃です。

湘南レディース —技術と人間性の向上を目指して—

寒川ローンTC 河田靖子

「湘南レディース」は7年前、新田マサミさん(鷓沼グリーン)の呼びかけで、女子連の卒業を目標に、技術向上と共に人間性も磨き合っていこうと、湘南方面のレディー(?) 8名でスタートしました。この呼びかけに賛同して集まる人が増え、伊沢TGの伊沢さんの御好意でコートをお借りでき、飯尾尚子さんと谷口美佐子さんの御二人に指導していただきました。小さなクラブの人が多く、試合も今ほど沢山の行われていない時でしたから、ほかのクラブの人達とテニスができることがうれしくて、毎月の練習会を心待ちにしておりました。最初の年はだめでしたが、翌年女子連で優勝者を出してからは、毎年優勝、準優勝者を出しており、現在までに22名の女子連卒業者をしています。練習会のコートは、湘南台パークサイドTGに移りましたが、先輩が後輩の面倒をみて育てていこうという方針はずっと受け継がれて、現在約60名のメンバーが月1回ゲームを中心にした練習会を行なっております。

昨年からは「湘南レディース」を基礎とし、鷓沼グリーンTCの御理解と御協力で、コートを使用させていただいて、新しく「マッチポイント」、「ねんねん会」、「湘南ニューレディース」という3つの会がスタートしました。「マッチポイント」は湘南レディースのメンバーで女子連卒業者を中心に、朝日レディース県代表を目指そうというグループで、「ねんねん会」は45才以上で、試合を目指すのではなく、楽しみながらテニスをやっていきたいグループ、「湘南ニューレディース」はビギナーで、これから試合にどんどん出ていこうというグループです。「湘南レディース」はこれら3つのグループとお互いに交流を持ち、面倒を見たり見られたりしながら、コートマナーにも気をつけ合って、皆で模範的なプレイヤーになれるよう頑張っております。

7年前に始まった輪が大きく広がって、ベテランもビギナーもつながりを持ちながらテニスを楽しんでおります。メンバーの中からまだ朝日レディースの代表が出ていませので、今年こそはと皆頑張っております。

県支部親睦会後記

昨年来企画の県支部親睦会が好評でしたので、今年も4月2日サントリーテニスガーデン戸塚で開催しました。この親睦会は50才以上の会員の方々を対象にしたものです。日頃あまりトーナメントに出場なさらない為、他クラブの方との交流が少ないので是非参加したいとの声がとても多く86名の参加者を得ました。そのような声を反映させて、なごやかな中にも少しピリリと勝負の味をきかせ、4ブロックに分けたトーナメント方式を採りました。生憎、朝方迄の雨の為、午前中はインドコート4面で4ゲーム先取の試合方法で行われた為、とてもあわただしく、なごやかな雰囲気程遠かったような気がします。午後には晴れ間も出てオムニコートで6ゲームマッチを行ない、やっと落ち着いてゆっくりと試合を楽しんでいただけたようでした。今回は4月中旬に催されるジャパンオープンやジャルカップの審判をする方々が、この親睦会の場を借りてスコアーのつけ方や声の出し方を練習したいとの申し出があり、23名が参加されました。きびきびしたジャッジの方とのんびりと旧交を温め合いながらの親睦会の方との間に多少のギャップが感じられましたが、盛会のうちに4時の閉会の時間になってしまいました。この支部親睦会は参加者の年令の巾がかなり広いので、運営の方法を考慮するのが難しく、もっと他に楽しい方法があるのではと反省しつつ来年度の課題にしたいと思います。

湘南ローン 有吉春子

第14回45会親睦会を終えて

6月1日鎌倉シーサイドテニスクラブで開催された親睦会は109名が参加しました。名誉会員の武石様、賛助会員3名、東京23名、千葉4名、埼玉4名、Aブロック7名、Bブロック52名、Cブロック15名です。前日からの晴天で気温も高すぎる程で、日差しも強くかなり日焼けした方もいらっしゃる様子ですが一日楽しく過ごして頂きました。試合方法も昨年のを参考にして少し変えた所もありますが、色々な方とプレー出来るようにいたしました。毎年色々なと試みるのも良いと思います。1面10名というのは調度良い人数でした。支部長の大場さん、副支部長の飯尾さん、理事長の天野さんもプレーに参加していただき皆様に喜んでいただけたと思います。「来年も参加したいわ」と思って下さった方がいらっしゃれば大成功なのですが……。

親睦会に御協力下さった鎌倉シーサイドTCの方々、コート責任者を引き受けて下さった皆様に紙面を借りまして御礼申し上げます。

上郷グリーン 中川きよ

もっと もっと たくさんの手を……

広報でも度々お願いして来ましたが、ハンディキャップテニスの練習会のお手伝いをして下さる方を探しています。ハンディキャップテニス(HCT)とは、身体に何らかの障害を持った人達のテニスの事です。ここ数年、世界各地で盛んに行われつつあり、神奈川県でもHCTスポーツ教室が開かれています。車椅子を操作しながら、あるいは操具をつけながら障害を持った人達がゲームを楽しめる様、やさしいルールが考慮されています。JLTF神奈川県支部でも、現在30名程のボランティアの方々が技術指導やお手伝いをしています。障害者への理解を深め、明るい雰囲気の中で教室が開かれています。これから先、もっともっと、沢山の方々の御協力が頂けたらと思います。現在は火曜日の午後一横浜本牧コート、日曜日一石川町テニスガーデンで開かれています。“それじゃあ私も”と思って下さる方、ぜひ御連絡下さい。

連絡先 福永 優起子(横浜グリーンテニスクラブ)

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

「来年の朝日レディースに向って……」と書いてからはや一年が経ち、今年も新しい県代表を決定する予選大会も間近になりました。炎天下皆さん練習に励んでいらっしゃる事でしょう。上半期のたくさんの試合で、そして練習で身に付けた技と力を一杯に発揮した素晴らしい県予選になる様期待しています。

(酒井)